

PLAN					DO					CHECK					ACTION					
戦略	要旨	方向性	重点事業	事業の概要	数値目標・KPI			実施状況等 (H30)	地方創生関係交付金	数値目標・KPIの推移					担当課評価			審議会評価		町評価
					指標	基準値	目標値			H28	H29	H30	R元	R2	評価	評価理由	今後の方針	評価	意見等	今後の方向性
戦略1 大磯への新しいひとの流れをつくる	<p>◆交流人口拡大を基点とした大磯定住への布石</p> <p>都心に近接しながら豊かな自然環境や湘南発祥の地として歴史的・文化的に魅力ある地域資源に恵まれている大磯町は、交流人口を拡大させ、新たなひとの流れを生み出す可能性を備えています。町の地域資源を最大限活用し、町外へ発信することで、大磯に憧れ、訪れたい、活気に満ち溢れた地域を創出します。</p> <p>また、県の新たな観光の核づくりプロジェクトと連携しながら、大磯の魅力を浸透させ、来訪者、移住希望者に選ばれるまちづくりをめざします。</p>	<p>■大磯を訪れたい交流人口の増加</p> <p>■地域経済の活性化を促進する交流拠点の整備</p> <p>■多様な来訪者の交流を広げるネットワークの構築</p>	数値目標		入込観光客数	85.8万人 (H26)	100万人以上			86.0万人	91.7万人	110.2万人								
			事業1	地域資源を生かした観光の振興	<p>◆「交流」「自然」「食」「文化」を楽しむ体験型プログラムの創出</p> <p>◆観光環境の整備と地域に対する愛着や誇りの心の涵養</p>	民間団体による観光関連事業数	30回 (H27)	45回以上	<p>・観光サイン・観光マップ整備事業</p> <p>・旧東海道松並木(大磯高麗1号線)整備事業</p> <p>・(仮称)西久保休憩施設整備事業</p>	① ⑤	39回	45回	49回			A	町内の名所に設置のオブジェを活用したオブジェめぐりなど、観光関連事業数の増加が見られた。	引き続き、町民主導のイベント実施に向けた支援を行う。	I	<p>【評価理由】</p> <p>【委員意見】</p>
				町有観光施設来場者数	39,828人 (H27)	48,000人以上	48,721人	56,731人			61,986人	A	明治記念大磯邸園の明治150年記念公開などもあり、各施設ともに増加傾向にある。	引き続き、指定管理者等との連携を密にし、施設の有効活用を促進する。	III					
			事業2	大磯港みなどオアシス事業による交流の促進	◆みなどを通年で集い楽しむ仕組みづくりの推進	大磯港県営駐車場利用台数	73,863台 (H27)	81,000台以上	・大磯港みなどオアシス推進事業	-	87,285台	97,300台	100,007台	A	年々利用台数が増加傾向にあり、圏央道の開通効果もあり、北関東方面からの来訪者が増加した。	冬場の来場者数が少ないため、魅力あるイベントの開催を検討し、冬場の来場者数の増加に努める。	IV V			
事業3	自転車ネットワークの整備	<p>◆広域的自転車ネットワークの環境整備</p> <p>◆来訪者の回遊性向上を生み出す仕組みづくり</p>	ポートハウスてるがさき利用者数	18,566人 (H27)	20,000人以上	・大磯駅周辺安全安心・にぎわい創出事業 <p>・観光サイン・観光マップ整備事業</p>	② ⑤	26,395人	31,785人	34,129人	A	指定管理者によるプール開設期間の延長、物販の実施などの自主事業など、利用の促進が図られている。	事業実績を確認しながら、指定管理者と協議を行い、ニーズに合った事業の展開で集客に努める。							

**地方創生関係交付金**

◆【H27】地域活性化・地域住民生活等緊急支援交付金（地方創生先行型）

- ① 一 邸園文化交流事業（活動団体への補助）
- ② 一 海浜・港湾エリアの特長を活かした地域活性化事業（レンタサイクル事業）
- ③ 一 中学校給食実施事業（一時保管施設整備、給食実施）
- ④ 一 子ども・子育て支援事業（保育士等の質向上支援、放課後子ども体験学習、幼保ふれあい交流、集団生活サポート、子ども発達相談）

◆【H28】地方創生加速化交付金

- ⑤ 一 近現代の歴史舞台からの地域づくり事業（吉田茂展開催、ブランドメッセージ・大磯暮らし制作、自転車ルート整備）

**担当課評価**

A 一 順調に推移

B 一 一定の進捗がある

C 一 進捗は遅れている

D 一 進捗は大幅に遅れている

**審議会評価**

I 一 重点事業が順調に進捗しており、事業の効果が認められるため、重点事業を継続して実施する。  
【重点事業の実施により、数値目標・KPIともに順調に推移している】

II 一 概ね重点事業が順調に進捗しているが、一部の事業を改善する必要がある。  
【重点事業の実施により、数値目標・KPIともに概ね順調に推移しているが、一部のKPIの進捗が遅れている】

III 一 重点事業を実施したものの、十分な成果が得られておらず、一部の事業を見直す必要がある。  
【重点事業は実施されているが、数値目標・KPIともに進捗が遅れている】

IV 一 重点事業のさらなる進捗が必要である。  
【重点事業の進捗が遅れている】

V 一 達成状況を検証する数値目標を見直す必要がある。  
【数値目標とKPIの関連性が低いなど、重点事業の進捗状況を適切に判断できない】

PLAN					DO					CHECK					ACTION								
戦略	要旨	方向性	重点事業	事業の概要	数値目標・KPI			実施状況等 (H30)	地方創生関係交付金	数値目標・KPIの推移					担当課評価		審議会評価		町評価				
					指標	基準値	目標値			H28	H29	H30	R元	R2	評価	評価理由	今後の方針	評価	意見等	今後の方向性			
戦略2 大磯で若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる	◆若い世代の結婚、出産、子育ての希望を叶え、若い世代に選ばれるまちづくりの推進  若い世代の結婚や出産に対する価値観の変化や雇用形態の変革等により、少子化、晩婚化などの社会問題が発生しています。安心して結婚・出産・子育てができる環境を整備するとともに、しごとと子育ての調和が取れ、大磯に若い世代が住み続けたいまちづくりをめざします。また、次世代を担う子どもたちの健やかで力強い成長を実現するため、特色ある学校教育ときめ細かな支援を提供することで、若い世代に選ばれるまちづくりをめざします。	■安心して子どもを産み育てやすい環境の実現 ■しごとと子育ての調和を実現する子育て支援サービスの充実 ■心豊かに成長できる子どもたちの育成 ■社会で活躍できる子どもたちの育成	数値目標	0歳～14歳の人口割合	12.2% (H26)	12.2%以上				11.3%	11.3%	11.1%											
			事業1	妊娠・出産・子育てに関する総合支援の推進	◆妊娠・出産・医療体制の確保と子育てに関する支援体制の充実 ◆東海大学医学部附属大磯病院の産科再開をめざした取組み	出生数	169人 (H26)	200人以上	(認定要件に該当する事業なし)	-		188人	201人	178人		B	前年度値201人よりも1割程度減少したが、妊娠期からの切れ目ない支援を目的とし、専任の保健師を配置し、支援の充実を図ったほか、特定不妊治療助成による成果(5人)もあり、現況値よりも上回っている。	子育て世代包括支援センター開設の準備を進め、引き続き妊娠から子育て期の切れ目ない支援の充実を図る。					
						子育て世帯のずっと・当分住み続けたい意向	69.3% (H26)	75.0%以上				-	-	78.0%		A	「子ども笑顔かがやきプラン」に基づき、各種施策がおおむね順調に進捗しており、子育て支援に係る環境が向上してきている。	引き続き、「子ども笑顔かがやきプラン」に基づく取組みを推進していく。					
			事業2	ワークライフバランスを支援する保育サービスの充実	◆ニーズに対応した多様な保育サービスの充実 ◆しごとと子育てを両立できる支援体制の充実	待機児童数	18人 (H27)	0人	・国府幼稚園統合(私立認定こども園誘致)事業 ・(仮称)東部子育て支援センター整備事業	④		18人	18人	13人		B	待機児童対策として、保育の受け皿を整備して来た。幼児教育・保育の無償化開始年度にあたり、保育ニーズが伸びたため、既存施設の保育定員を拡充し、待機児童解消を図った。	保育ニーズの動向を注視した上で、「子ども笑顔かがやきプラン」の次期計画において検討していく。					
						【補助指標】認定こども園の設置数	0園 (H27)	2園				1園	1園	2園									
						子育て支援センター利用者数	14,330人 (H26)	18,500人以上				17,162人	15,670人	16,809人				B	3歳児保育や早期のプレ保育等子育て支援サービス対象者が若年化してきており、施設利用者は増加傾向にある。	講座の拡大や周知方法について更に検討していく。また、東部地区の子育て支援センターの開設に向けた取組みを進めていく。			
						【補助指標】子育て支援センター設置数	1か所 (H27)	2か所				1か所	1か所	1か所									
			事業3	放課後の子ども健全育成への支援	◆放課後の居場所づくりの充実 ◆地域の人材を生かした子育て支援の推進	学童保育登録者数	151人 (H26)	183人	(認定要件に該当する事業なし)	④		188人	205人	207人		A	小学校の余裕教室を活用しながら、学童施設のスペースの確保を行い、学童保育利用者が安心して楽しい生活できる環境を整備した。	利用希望者が増加傾向にある中、児童の情緒面や安全性を考慮し、十分な生活の場を確保することにより、今まで以上に学童保育所を利用する児童が安心して楽しい生活ができる環境を整えていく。					
						放課後子ども教室登録者数	450人 (H26)	500人			466人	504人	551人				A	放課後の学校施設を有効に活用し、児童の安全・安心な居場所を設け、異年齢や地域との交流など様々な取組みが実施できている。	放課後児童クラブと放課後子ども教室との連携を図りながら、全ての児童が参加することができる共通プログラムなどを積極的に実施していく。				
						【補助指標】放課後子ども教室実施回数	57回 (H27)	80回			59回	58回	55回										
			事業4	時代の変化に対応した教育環境の整備	◆ICT教育環境の整備充実 ◆グローバル化に対応する外国語教育の推進	各学校の教育用コンピュータ数	40台 (H27)	80台以上	・学校職員業務用コンピュータ整備事業 ・学校図書館連携システム整備事業	④		40台	40台	40台		C	1クラス分の児童・生徒数(最大40名)のコンピュータは確保できているが、その時間に使えるクラスは校内で1クラスに限られるため、授業が重なった場合にはお互いの調整が必要になる。	令和元年度にはタブレット型パソコンを導入し、令和2年度からの新学習指導要領の全面実施に伴う小学校でのプログラミング教育を見据え、ICT環境を整備していく。					
						英語指導助手数	2人 (H27)	3人				2人	2人	2人				B	現行の学習指導要領の時間数では2名体制の配置で小・中学校ともチーム・ティーチングを行うことができているが、新学習指導要領が本格実施となる令和2年度以降には、小学校における外国語活動(3・4年生)の実施や、外国語科(5・6年生)の時間数増となるため、現行の指導助手2名体制だけでは難しい。	新学習指導要領では、小学校の外国語活動・外国語の授業数が増えるため、十分な人数の確保に努める。			

地方創生関係交付金  
 ◆【H27】地域活性化・地域住民生活等緊急支援交付金(地方創生先行型)  
 ① - 邸園文化交流事業(活動団体への補助)  
 ② - 海浜・港湾エリアの特長を活かした地域活性化事業(レンタサイクル事業)  
 ③ - 中学校給食実施事業(一時保管施設整備、給食実施)  
 ④ - 子ども・子育て支援事業(保育士等の質向上支援、放課後子ども体験学習、幼保ふれあい交流、集団生活サポート、子ども発達相談)  
 ◆【H28】地方創生加速化交付金  
 ⑤ - 近現代の歴史舞台からの地域づくり事業(吉田茂展開催、ブランドメッセージ・大磯暮らし制作、自転車ルート整備)

担当課評価  
 A - 順調に推移  
 B - 一定の進捗がある  
 C - 進捗は遅れている  
 D - 進捗は大幅に遅れている

審議会評価  
 I - 重点事業が順調に進捗しており、事業の効果が認められるため、重点事業を継続して実施する。  
 【重点事業の実施により、数値目標・KPIともに順調に推移している】  
 II - 概ね重点事業が順調に進捗しているが、一部の事業を改善する必要がある。  
 【重点事業の実施により、数値目標・KPIともに概ね順調に推移しているが、一部のKPIの進捗が遅れている】  
 III - 重点事業を実施したものの、十分な成果が得られておらず、一部の事業を見直す必要がある。  
 【重点事業は実施されているが、数値目標・KPIともに進捗が遅れている】  
 IV - 重点事業のさらなる推進が必要である。  
 【重点事業の進捗が遅れている】  
 V - 達成状況を検証する数値目標を見直す必要がある。  
 【数値目標とKPIの関連性が低いなど、重点事業の進捗状況を適切に判断できない】

PLAN					DO							CHECK			ACTION					
戦略	要旨	方向性	重点事業	事業の概要	数値目標・KPI			実施状況等 (H30)	地方創生関係交付金	数値目標・KPIの推移					担当課評価		審議会評価		町評価	
					指標	基準値	目標値			H28	H29	H30	R元	R2	評価	評価理由	今後の方針	評価	意見等	今後の方向性
戦略3 大磯にしごとをつくり安心して働けるようにする	<p>◆持続可能な産業基盤と安定した雇用環境の構築</p> <p>社会経済情勢や多様化する消費者ニーズ等により、地域の産業と雇用状況は大きく変化しています。地域経済に活力をもたらす、持続可能な産業基盤を確立させるため、新たな産業を創出し、「しごと」を生み出すことで、新たな雇用を促進し、財政基盤が安定したまちづくりをめざします。</p> <p>また、就業機会の拡大により、若い世代を引き付け、安心して大磯で働ける環境整備と大磯で働くことを希望する意欲を高めます。</p>	<p>■新たな地域産業の育成に伴う地域経済の活性化</p> <p>■安定した雇用の確保による地域経済の活性化</p> <p>■環境負荷の少ない持続可能な社会の創生</p>	数値目標	<p>昼夜間人口比率</p> <p>77.4% (H22)</p> <p>80.0% 以上</p>	<p>77.4% (H22)</p>	<p>80.0% 以上</p>	<p>（認定要件に該当する事業なし）</p>	-	79.1% (H27)	<p>次回調査予定は、R2国勢調査</p>			B	<p>昨年度から引き続き、商工会及び金融機関との4者連携協定に基づき、商品開発などの取組みを実施したが、後継者不足などにより、昨年度と同数である。</p>	<p>4者協定の取組みである摘果みかんを活用したアロマオイルが製品化の目途が立ったため、引き続き商工会や金融機関と連携し、制度融資及び支援メニュー等の周知・充実を図る。</p>	I	【評価理由】	【委員意見】	<p>今後の方向性</p>	
										事業1	<p>地域産業ビジネスに対する創業支援の充実</p> <p>◆地域の資源や人材が持つノウハウを生かした産業創出への支援</p>	<p>町内事業所数</p> <p>1,192か所 (H27)</p> <p>1,250か所 以上</p>								<p>1,139か所</p> <p>1,066か所</p> <p>1,066か所</p>
			事業2	<p>地域雇用の場の整備と担い手の育成</p> <p>◆地域雇用の場の創出</p> <p>◆担い手となる新規就業者、後継者への育成支援</p>	<p>認定農業者数</p> <p>27人 (H27)</p> <p>30人 以上</p>	<p>2件 (+2件)</p> <p>5件 (+3件)</p> <p>7件 (+2件)</p>	<p>年間新規就業者数</p> <p>2件 (H27)</p> <p>4件 以上</p>	<p>年間新規就業者数</p> <p>2件 (H27)</p> <p>4件 以上</p>	<p>新規就業者数</p> <p>0人 (H27)</p> <p>3人 以上</p>	<p>【補助指標】年間漁獲量</p> <p>294t (H27)</p> <p>350t 以上</p>	<p>267t</p> <p>507t</p> <p>495t</p>	<p>0人 (H27)</p> <p>3人 以上</p>	<p>267t</p> <p>507t</p> <p>495t</p>	<p>267t</p> <p>507t</p> <p>495t</p>	<p>0人 (H27)</p> <p>3人 以上</p>					<p>267t</p> <p>507t</p> <p>495t</p>
			事業3	<p>持続可能な社会に向けた事業の推進</p> <p>◆3R（リデュース・リユース・リサイクル）の推進</p> <p>◆省エネルギー、再生可能エネルギーの利活用の推進やエコビジネスの創出に向けた支援</p>	<p>町民一人1日当たりのごみ排出量</p> <p>895g (H26)</p> <p>882g 以下</p>	<p>959g</p> <p>954g</p> <p>939g</p>	<p>52件 (+9件)</p> <p>64件 (+12件)</p> <p>72件 (+8件)</p>	<p>スマートエネルギー設備補助件数累計</p> <p>23件 (H26)</p> <p>170件 以上</p>	<p>52件 (+9件)</p> <p>64件 (+12件)</p> <p>72件 (+8件)</p>	<p>52件 (+9件)</p> <p>64件 (+12件)</p> <p>72件 (+8件)</p>	<p>52件 (+9件)</p> <p>64件 (+12件)</p> <p>72件 (+8件)</p>	<p>52件 (+9件)</p> <p>64件 (+12件)</p> <p>72件 (+8件)</p>	<p>52件 (+9件)</p> <p>64件 (+12件)</p> <p>72件 (+8件)</p>	<p>52件 (+9件)</p> <p>64件 (+12件)</p> <p>72件 (+8件)</p>	<p>52件 (+9件)</p> <p>64件 (+12件)</p> <p>72件 (+8件)</p>					<p>52件 (+9件)</p> <p>64件 (+12件)</p> <p>72件 (+8件)</p>

**地方創生関係交付金**

◆【H27】地域活性化・地域住民生活等緊急支援交付金（地方創生先行型）

- ① ー 邸園文化交流事業（活動団体への補助）
- ② ー 海浜・港湾エリアの特長を活かした地域活性化事業（レンタサイクル事業）
- ③ ー 中学校給食実施事業（一時保管施設整備、給食実施）
- ④ ー 子ども・子育て支援事業（保育士等の質向上支援、放課後子ども体験学習、幼保ふれあい交流、集団生活サポート、子ども発達相談）

◆【H28】地方創生加速化交付金

- ⑤ ー 近現代の歴史舞台からの地域づくり事業（吉田茂展開催、ブランドメッセージ・大磯暮らし制作、自転車ルート整備）

**担当課評価**

A ー 順調に推移

B ー 一定の進捗がある

C ー 進捗は遅れている

D ー 進捗は大幅に遅れている

**審議会評価**

I ー 重点事業が順調に進捗しており、事業の効果が認められるため、重点事業を継続して実施する。  
【重点事業の実施により、数値目標・KPIともに順調に推移している】

II ー 概ね重点事業が順調に進捗しているが、一部の事業を改善する必要がある。  
【重点事業の実施により、数値目標・KPIともに概ね順調に推移しているが、一部のKPIの進捗が遅れている】

III ー 重点事業を実施したものの、十分な成果が得られておらず、一部の事業を見直す必要がある。  
【重点事業は実施されているが、数値目標・KPIともに進捗が遅れている】

IV ー 重点事業のさらなる推進が必要である。  
【重点事業の進捗が遅れている】

V ー 達成状況を検証する数値目標を見直す必要がある。  
【数値目標とKPIの関連性が低いなど、重点事業の進捗状況を適切に判断できない】

